

令和2年第4回

山都町議会定例会

提案理由説明書

令和2年12月3日

令和2年第4回定例会を招集しましたところ、御参集を賜り、誠にありがとうございます。

はじめに、9月定例会以降の町政等について、ご報告申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、第3波とみられる感染拡大の様相を呈しています。年末年始を控え、またインフルエンザの流行時期とも重なり大変危惧される状況です。

本町におきましても感染者が発生いたしましたが、町民の皆様には冷静な対応をいただき、大きな混乱が生じることはありませんでした。

あらためて町民の皆様にお礼を申し上げますとともに、引き続きなお一層感染防止の徹底をお願いいたします。

町では、感染症対策として様々な事業を実施しています。なかでも、「食べ行く券」「応援商品券」の活用が直接町の経済の活性化に繋がりますので、使用期限内でのご使用をお願い申し上げます。

また、事業者の方々には、より効果的で現状に即した取り組みを行っていただきますようお願いいたします。「オール山都」でこの困難に立ち向かいましょう。

さて、幸いにして台風や大雨などの被害はありませんでしたが、丹精込めて良質米の生産に取り組む農家の皆様にとりまして、今年もウンカの大規模発生により、矢部地区を中心に大きな被害となりました。イノシシによる食害と併せて、大きな影響を受け続けています。

地域ぐるみの対応が重要であります。今後もJAをはじめ関係団体との連携により、適切な対応を行って参ります。

休業中でした「そよ風パーク」につきましては、新たな指定管理者が決まり、10月末から「そよ風物産館」の営業を再開いたしました。

これからも準備が整い次第すべての施設の営業再開に全力を尽くしながら、町内外への情報発信も併せて取り組みます。

次に、九州中央自動車道につきましては、蘇陽～五ヶ瀬間の事業着手の「杭打ち式」が実施される運びとなりました。

今後も、関係自治体の皆様と連携を強化しながら、早期の工事着手と、矢部～蘇陽間の事業化と予算確保に向けた要望活動を展開していきます。

また、うれしいニュースも飛び込んで参りました。菅（すが）内閣において、坂本哲志代議士が「一億総活躍担当大臣」をはじめ、「まち・ひと・しごと創生」や「少子化対策・地方創生」の担当大臣に就任されました。

人口減少・高齢化等による地域力の低下が危惧され、さらにコロナ対策など様々な課題に直面しているなかで、地方の活性化に大いなる活躍を期待したいところです。

さて、私事ではありますが、アメリカ大統領選挙に絡みまして、国内の報道機関はもとより、ワシントンポストなどの海外メディアにも”日本のジョー・バイデン”として大きく取り上げられました。

反響の大きさに私自身も戸惑いましたが、何か話題があれば、報道機関は我先にどこぞって報道されることを肌で感じました。

今後も「山の都（みやこ）山都町」の情報発信を行い、売り込みのチャンスとして捉えて対応していきたいと思えます。

最後になりましたが、熊本地震や豪雨災害からの復興にもようやく目処が立ちましたが、油断することなく防災対策を講じる必要があります。

自治振興区を基本として、自主防災組織の設立から活動に至るまで、積極的な取り組みに感謝申し上げます。

毎年のように人命に係る大きな被害が発生しておりますが、その後の生活再建には長い期間が必要です。

日頃から防災と減災への取り組みを怠ることなく「災害に強いまちづくり」に取り組んでまいります。

延期いたしました「総合防災訓練」は年明け2月に計画しております、皆様の積極的な参加をお願いいたします。

次に、今定例会に提案しております議案についてご説明いたします。

今回の定例会に提出する議案等は20件で、条例8件、補正予算5件、その他7件です。

議案第72号から議案第79号は、それぞれ必要な条例の一部改正や新たな条例の制定を行うものです。

議案第80号から第84号は、令和2年度における一般会計及び特別会計並びに事業会計の補正予算に関するものです。

議案第85号及び第86号は、それぞれ町道の廃止及び認定に関するものです。

議案第87号は、工事請負契約の締結に関するものです。

議案第88号及び議案第89号は、指定管理者の指定に関するものです。

議案第90号は、工事請負変更契約に関するものです。

諮問第2号は、人権擁護委員の推薦に関するものです。

以上、提案理由について説明いたしました。

詳細については、担当課長から説明させますので、適切な決定をいただきますようお願いいたします。